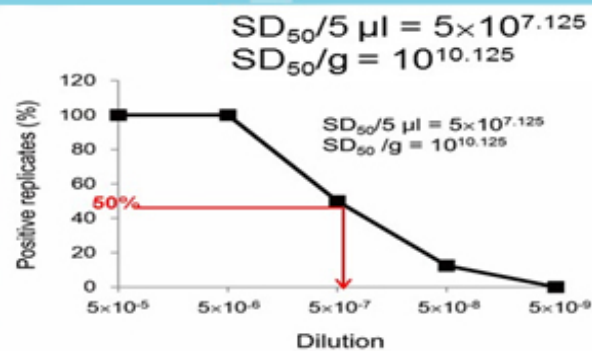
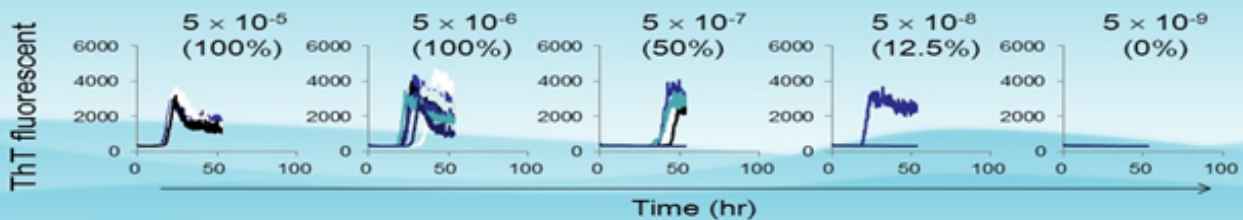


## ヒトプリオン病の各臓器におけるprion seeding activity の検討

研究分担者: 西田 教行 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 感染分子解析学分野

研究協力者: 佐藤 克也 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 運動障害リハビリテーション

### End-point RT-QuIC assayによる50% Seeding Dose ( $SD_{50}$ )の算出



研究協力者である佐藤克也は「ガイドラインの策定・改訂」、「診断基準・重症度分類策定・改訂のための疫学調査」の委員であり、本研究の結果をこれらのガイドラインや診断基準に利用している。

### 解説

1. Endpoint dilution法とRT-QuIC法を組み合わせることで、プリオンのアミロイド形成能(シード活性)を50% seeding dose ( $SD_{50}$ )として定量的に評価することが可能となった。
2. 孤発性CJD患者より剖検時に採取した臓器(脳・脾臓・肝臓・腎臓・肺・副腎・消化管)の $SD_{50}$ を測定したところ、非神経系組織においても $10^4$ - $10^7/\text{g}$  tissueのシード活性が存在することが明らかとなった。